

2026年度 入学試験問題

算 数

(6 0 分)

〔 注 意 〕

- ① 問題は①～④まであります。
- ② 解答用紙はこの問題冊子の間にはさんであります。
- ③ 解答用紙には受験番号と氏名を必ず記入のこと。
- ④ 各問題とも解答は解答用紙の所定のところへ記入のこと。
- ⑤ 特に指示がなければ にあてはまる数を答えなさい。
- ⑥ すい体の体積は (底面積) $\times$ (高さ) $\div 3$ で計算することができます。

西大和学園中学校

問題は次のページから始まります。

※切りはなしてはいけません。

$$(1) \frac{1}{2} \div \left(\frac{13}{60-13} \times \frac{8}{3} - \frac{1}{3} \right) - 1 = \boxed{}$$

$$(2) \frac{9}{125} \div \left[\frac{1}{2} - \left\{ \left(\frac{3}{8} + \boxed{} \right) \times 0.18 + \frac{1}{4} \right\} \times \frac{10}{11} \right] = \frac{8}{15}$$

- (3) 1つ54円の消しゴムと1つ135円のキーホルダーをあわせて94個買ったところ、消しゴムを買うために支払った金額とキーホルダーを買うために支払った金額の比が7:6になりました。このとき、買ったキーホルダーの個数は $\boxed{}$ 個です。

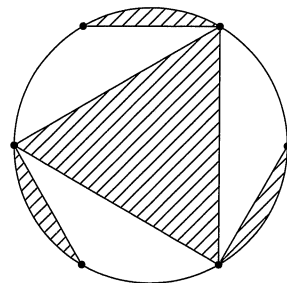
- (4) 10円玉と50円玉と100円玉がたくさんあります。あわせて20枚の硬貨を、合計金額が1000円以上となるように選びます。10円玉の枚数と50円玉の枚数を逆にすると、合計金額は元の合計金額より200円少なくなり、900円未満となりました。このとき、選んだ100円玉の枚数は $\boxed{}$ 枚です。

- (5) A地点とB地点を結ぶまっすぐな道があります。Nさんは、A地点からB地点に向かって自転車に乗って移動します。途中、落とし物をしたことに気づいて、A地点とB地点のちょうど真ん中のC地点からD地点に自転車を押して歩いて戻り、D地点から再び自転車に乗ってB地点に移動しました。歩いた距離は自転車に乗って移動した距離の $\frac{1}{9}$ 倍であり、BD間の距離が7.5kmであったとすると、AB間の距離は $\boxed{}$ km だということがわかります。

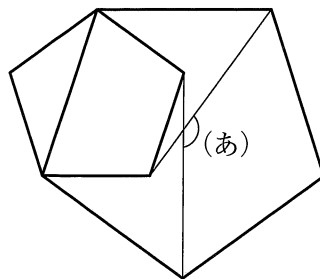
問題は次のページへ続きます。

※切りはなしてはいけません。

- (1) 下の図の点は半径が6 cm の円周を6等分する点です。斜線部分の面積の和は cm^2 です。円周率は3.14として計算すること。



- (2) 下の図のように、太線を辺とする正五角形が2つあり、頂点同士を2本の直線で結びます。このとき、図の角(あ)の大きさは $^\circ$ です。



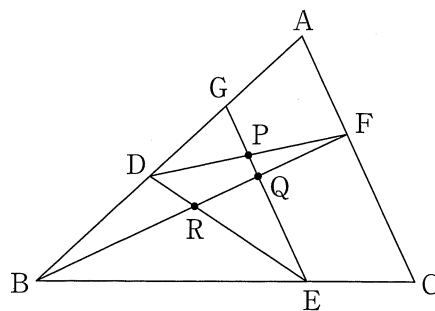
- (3) 三角形 ABC において、辺 AB, 辺 BC, 辺 CA 上に点 D, E, F をそれぞれ

$$AD : DB = 4 : 3, \quad BE : EC = 5 : 2, \quad CF : FA = 3 : 2$$

になるようにとります。辺 AD の真ん中の点を G とし、下の図のように直線同士の

交点を P, Q, R とします。このとき、辺 QE と辺 GP の長さの比である $\frac{GP}{QE}$ の値は

あ です。また、三角形 RQE の面積は三角形 ABC の面積の い 倍です。



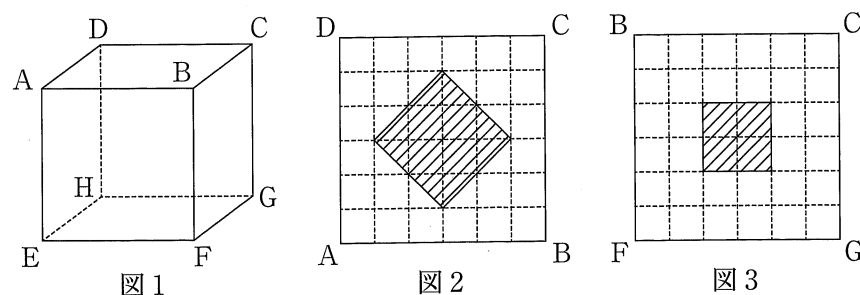
問題は次のページへ続きます。

※切りはなしてはいけません。

- (1) 図1は一辺の長さが12 cm の立方体 $ABCD-EFGH$ です。面 $ABCD$ の図2の斜線部分を底面とする高さ6 cm の直方体をくりぬきます。さらに、面 $CBFG$ の図3の斜線部分の位置に、面 $ADHE$ までつきぬける直方体の穴をあけます。ただし、図2、図3の点線は等間隔に引かれています。

(i) この立体の体積は cm^3 です。

- (ii) はじめ立方体 $ABCD-EFGH$ が平面 $EFGH$ を底にして平らな面の上にあるとします。立体を辺 FG を軸として 45° 傾けた後、面 $CBFG$ の斜線部分の穴をふさぎます。くりぬいた部分に水を入れると cm^3 を超えたときに、面 $ABCD$ のくりぬいた部分から初めて水が溢れます。



- (2) 2026 は $1 \times 1 + 45 \times 45$ のように、同じ整数を2回かけあわせた2つの数を足しあわせた数です。377 は小さい順にならべた4つの整数 A, B, C, D を用いて

$$377 = A \times A + D \times D = B \times B + C \times C$$

と表すことができます。このような整数の組 (A, B, C, D) は1組だけです。

(A, B, C, D) を求めなさい。

問題は次のページへ続きます。

4 図のような、12個のマス目に1以上12以下の数を次の規則に従って書き入れます。

- ・図1の「※の次のマス目」を、斜線で塗った4つのマス目のうちどれかとします。
- ・2は「1の次のマス目」のどれかに書きます。
- ・3は「2の次のマス目」のうち数の書かれていないどれかに書きます。
- ・4, 5, 6, ..., 12についても同じ手順で書き入れられるだけ書き入れます。

例えば図2のように書き入れると1から12までのすべての数を書き入れることができますが、図3のように11までしか書き入れることができない場合があります。以下の問いに答えなさい。

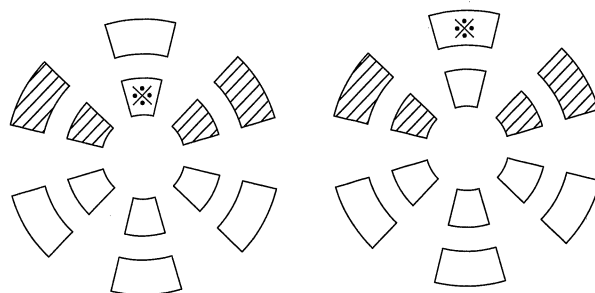


図1

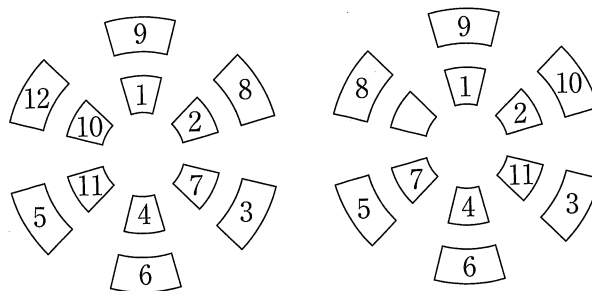


図2

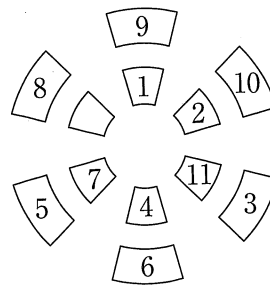


図3

(1) 図4のように1から6までの数を書き入れました。この後、7から12までの数を書き入れました。全部で何通りの書き入れ方がありますか。

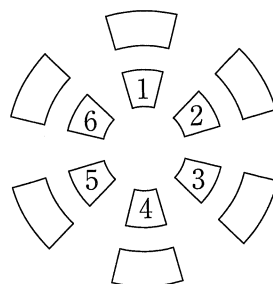


図4

(2) 図5のように1から5までの数を書き入れました。この後、6から12までの数を書き入れました。全部で何通りの書き入れ方がありますか。

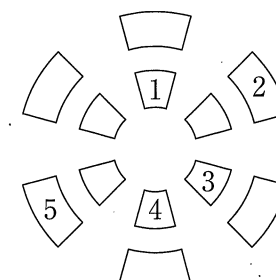


図5

(3) 1から12までのすべての数を書き入れることができなかったとき、書き入れることのできた最後の数として考えられる最小の数を求めなさい。

(4) 図6のように1を書き入れました。この後、2から12までのすべての数を書き入れることができました。全部で何通りの書き入れ方がありますか。

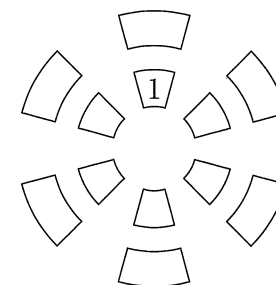


図6

問題は以上です。



算数解答用紙



260118-30

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号					氏名	

※のらんには何も書かないこと。

1	(1)	(2)	(3)	※
	(4)	(5)		
2	(1)	(2)	(3)	※
			あ	
	(3)			
	い			
3	(1)		(2)	※
	あ	い	(, , ,)	
4	(1)	(2)	(3)	※
	通り	通り		
	(4)			
	通り			

※